



JA鹿児島みらい

- 2 第7回通常総代会
- 4 総代会での主な意見・要望
- 5 地区別説明会での主な意見・要望
- 8 トピックス
- 11 女性部通信
- 11 食農教育
- 12 ATM再編のお知らせ
- 13 移動金融店舗車みらい号
- 13 イベント告知
- 14 読者からのおたより 他
- 15 お楽しみクイズ
- 16 アートの広場

みらい

2025

7

KAGOSHIMA MIRAI

広報誌
No.58

新しい夢 どんどん
育てよう明日を
JAグループ鹿児島

「組合員・地域に愛され、親しまれるJAへ」～新たな未来の創造～

よしの優ら良ラッピングバス(P9)



第7回通常総代会



5月27日、川商ホール（鹿児島市民文化ホール）で第7回通常総代会が開かれ、522人（本人出席197・代理人出席5・書面議決書320）が出席しました。

総代会では、村山眞一郎組合長が「支店機能再構築に取り組み、『出迎える体制の整備』と組合員訪問活動など『出向く体制の強化』を通じて、組合員・利用者の皆様に質の高いサービスが提供できるよう役職員一丸となつて邁進してまいります」とあいさつしたあと、2025年度は第3次中期3か年計画の初年度として、組合員との徹底した対話を重ねながら、自己改革実践サイクルの着実な実践に取り組むことを盛り込んだ基本方針を含む25年度事業計画や自己改革取組宣言、役員選任など全8議案が原案通り可決されました。

また、本総代会での役員選任を受け、その後の理事会において新たに井手上貢氏が組合長に選任されました。

■第7回通常総代会提出議案

第1号議案 令和6年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

【報告事項】

令和6年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに会計監査人の監査報告及び監事の監査報告について

第2号議案 中期3か年計画の決定について

第3号議案 令和7年度事業計画及び関連事項の決定について

JA鹿児島みらい自己改革取組宣言

第4号議案 理事の報酬について

第5号議案 監事の報酬について

第6号議案 定款の一部変更について

第7号議案 定款附属書総代選挙規程の一部変更について

第8号議案 役員選任について

「JAバンク基本方針」の変更について

部門別損益計算書

事業別の明細



常勤役員



常勤監事
下尾 孝秋



常務理事
金融共済担当
橋口 公治



常務理事
管理経済担当
杉山 年美



代表理事組合長
井手上 貢

新役員紹介

非常勤理事



谷山中央
永里 和彦



中央
黒瀬 小枝子



中央
樋口 智



伊敷
森山 智



吉野
久保 洋



吉野
富安 仁



吉田
林 大史



女性枠
守屋 宏美



女性枠
押領司 美和子



女性枠
茶園 泉



桜島
浜田 貢



谷山南
上水樽 孝



谷山北
南 浩昭



谷山中央
奥 賢一

非常勤監事



員外監事
今村 順二



鎌田 まゆみ



新福 幸廣



室屋 勉



古別府 伸一郎



福重 祐之

役員退任あいさつ

この度の任期満了に伴う役員改選を機に、鹿児島みらい農業協同組合の役員を退任いたしました。在任中は、公私共に格別のご厚情を賜りましたことを衷心よりお礼申し上げますと共に、新役員に対しましても変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



前代表理事組合長

村山 眞一郎

前代表理事常務

杉森 広行

前理事

枇杷 稔

迫 博光

江藤 正弘

西 久人

野田 勉

緒方 由美子

前監事

上國料 静

有元 利和

飯屋 幸孝

江川 健二

本村 浩

青屋 學

藤崎 国子

曾木 豊

小園 修一

△意見・質問△

■ 米価格の高騰についてお尋ねします。米の流通量が不足し、価格が高騰しておりますが、JAとしてなぜ高くなっているのかを明確にいただきたいと思います。備蓄米を我々組合員・消費者に届ける必要があると考えているのか。組合員が非常に難儀している訳ですから、その解消のためにどのようなことをされたのでしょうか。こうしたことや谷山の直売所などに備蓄米が出されるような努力をされたのかをお尋ねしたいと思います。

【回答】 JAとしての立場から申し上げますと、現在の米価が国産米の消費減退に繋がることを非常に心配しております。「高いから生産者は儲かる」といった状況ではないと思っております。生産者が意欲を持つて今後も営農を継続できるように、消費者の皆様にご理解いただける価格水準の下、「持続可能な食糧生産を行うこと」「消費者の皆様」に米を安定的に届けること」が最も重要だと考えております。備蓄米に対する手立てにつきましては、単協では出来ない仕事だと思っております。当然全農が関係してきますが、当管内は鹿児島県経済連でございます。県経済連が全農から引き受けるというルートでございます。現在、農林水産大臣が国の政策として、ごつすればいち早く消費者の皆様が届けられるのか検討中で

すので、注視してまいりたいと思っております。

■ 預金について今期の残高が1,556億円ですが、昨年度は1,771億円であり、約220億円減少しています。分析すると系統預金が218億円減少しているようですが、この理由を教えてください。

【回答】 系統預金の減少理由ですが、JAはお預かりした貯金を預金、貸出金、有価証券等で運用させていただいており、貯金残高が昨年度より減少していることがお分かりいただけると思います。また、JAは県や市などからもお預けいただいており、内部では「公金」と呼んで組合員利用者の皆様の貯金とは区別しております。その公金の受入額が大きく減少したことが要因に挙げられます。貯金残高が大きく減少しますと、運用する預金残高も大きく減少することになります。公金が約150億円減少しておりますので、こちらが主な要因になったと思われます。なお、公金が減少した要因につきましては、公金は預入金利を提示し入札により預入先が決まるのですが、他行が高い金利を提示したことにより、なかなか当JAが獲得できなかったことが大きな要因となっております。

■ 「スマート農業の振興」という言葉

がありますが、当JAはスマート農業についてどのような取り組みをされていますか。

【回答】 園芸・農産は、水稻航空防除の支援、秋彩システムの利用普及、あいの利用普及、環境モニタリング装置によるデータ集積及び活用、畜産は労働力軽減、受胎率向上に現在取り組んでいるところでございます。今後もスマート農業の支援に向けて取り組んで行きたいと考えております。

■ 総代の定数は定款で当然定められているのですが、本日も150名しか出席しておりません。そのような状況で、なぜ500名も必要なのでしょう。か。もっと減らせないのでしょか。

【回答】 総代会制度を導入しているJAについては、総代定数を最低500名からとすることが農協法において定められているため、このようにご提案させていただきました。各地域とも高齢化が進んでおり、3年前から「560名の総代の方をお願いするのは難しい」という意見も出されていたためです。

■ 伊敷斎場につきましては、金額・件数ともに昨年度より増加しております。鹿児島市内においては2番目に取扱いが多い斎場だと聞いております。その斎場が令和6年度から令和7年度にかけて取扱件数が減る計画になっており

ますが、理由を教えてください。

【回答】 総代会資料に取扱計画を記載しておりますが、伊敷斎場については317件としております。令和6年度が計画以上の実績となりましたので、例年の件数に若干の上乗せをし、令和7年度計画を策定しております。

■ 購買事業について、総合損益計画を見ますと、令和6年度の実績より約6,600万円のプラス計画です。令和6年度の実績は令和5年度の実績より約4,400万円のマイナスでしたが、令和7年度の計画達成が可能なのでしょうか。

【回答】 購買事業の中には、生産資材や生活資材の他に葬祭事業も含まれておりますので、葬祭事業の取扱いが増えるということで、このような数値で整理させていただいております。

※ その他多くの「意見・要望」をいただきました。全てを掲載出来ず申し訳ございません。

＜購買再編・購買品について＞

■ 吉田南支店購買店舗は月曜日と水曜日しか営業していない。資材等を買った場合、次の月曜日まで待たないといけないのか。金曜日にも営業できないか。

【回答】 営農指導員および購買推進担当者も北部経済センターに配備し、出向く体制づくりに努めておりますので、担当者へ申し出ていただくか、お電話をいただければ配達も承ります。午前中のご注文で当日午後には配達可能です。また、午後にご注文をいただいた場合は翌営業日の午前中に配達可能です。隔日営業については、今のところ変更予定はございません。

■ 吉田地区購買店舗は火曜日と木曜日の営業となっているが、今後見直しを検討する余地はないのか。

【回答】 昨年の地区別説明会でも説明させて頂きましたとおり、隔日営業を1年間実施し、継続について最終的に決定する方針は変わっておりません。

■ 購買店舗再編によって犬迫事業所は週2回の営業となり、西部経済センターを利用する際に必要とする商品が取扱われていない。どのような指導を行っているのか。また、来年度は事業所の廃止が予定されるなかで、事業所

の機能を西部経済センターにしっかりと引き継ぎたい。

【回答】 小山田・犬迫地区の地域性の中で商材が違う状況もあることから、地域の現状をしっかりと把握し、商品の品揃えを行っていきます。また、営農指導員等を含めて、事業所毎に取扱品目が変わっていることから、肥料等統一ができないか検討を行っているところです。今後、西部経済センターに取扱いがなく、犬迫事業所に在庫があるものについては取り寄せを行い、配達等の対応を行ってまいります。

■ 農機具について、JAで購入した機械が修理できないのか。

【回答】 メーカーによりJAで修理部品が取り寄せられないものについては修理をお断りすることもあります。調整等の軽整備については、対応いたします。

■ グリーンセンターの購買供給高が減少している理由は、価格が高いからではないか。また、JADDOポイントはホームセンターから比べると少ないのではないか。

【回答】 令和4年度に肥料・資材価格が高騰して以来、供給高は減少しております。現在は価格が若干下がってきておりますが、依然として高止まり傾向であり、価格の影響もあると認識し

ております。また、令和7年3月より各経済店舗に購買推進担当者を設置しており、予約推進を図ることで通常より安い価格で、供給量を増やしていきたいと考えています。是非ご利用頂きたいと考えています。JADDOポイントについては、合併時より基準が変わっております。中期3か年計画において基準の検討をいたします。

＜人材確保・育成について＞

■ 職員待遇（ベースアップ）とあるが、どの程度なのか。また、離職が進むなかで職員が不足することは組合員にも影響がある。

【回答】 職員待遇（ベースアップ）については、3年前前から取り組みを進めております。大卒初任給の引上げが、当初県下JAのなかでも下位の方に位置していましたが、現在は上位の方に位置付けています。また、離職防止対策の新たな取り組みとしてメンター制度を導入しています。業務上だけでなく、プライベートな悩みや相談が出来るような仕組みで、若い職員の心のケアをすすめ離職防止に努めてまいります。

■ 正組合員や職員の減少など厳しい事業環境のなか大切なのは啓蒙ではないかと思う。職員に対し啓蒙が足りないのではないか。また、職員数が少ないのではないか。

【回答】 若手の職員が離職していく傾向が強くなっております。職場風土の改善をしながら離職しないよう、給与面も含め引き続き対応してまいります。

＜サービス・イベントについて＞

■ 銀行等は昼休み時間があるが、JAも導入する予定はあるのか。

【回答】 令和7年度より他金融機関の状況や当JAの昼時間の来店状況を調査しているところです。情報が集まり次第、昼休み時間の導入を検討する予定です。

■ 移動金融店舗車は定期貯金の切替えや振込もできず入出金だけで税金も払えないし、そのあたりが改善されれば、みらい号の利用者も増えるのではないか。

【回答】 みらい号は1日あたりの金額の制限や職員2名体制で実施しているなど様々な縛りがあります。運用をスタートした時点では、みらい号で出来ない事項を渉外職員がカバーしようという方針でスタートしましたが、皆様もご承知のとおり、全国の事務取扱ルールとして職員が現金や通帳を預かることが出来なくなり、なかなか取引の拡大ができない状況です。今後少しでも改善できるよう検討をすすめてまいります。

■ 移動金融店舗車をもつと組合員に周知してほしい。

【回答】 本年度より正組合員に対しJA広報誌を郵送し、確実に配布できるよう取り組んでおります。広報誌での周知を図ってまいります。

＜ATMについて＞

■ ATMを廃止するのであれば、貯金をすべて他行や郵便局に移したいと言っている人が多い。ATMの生産性基準を満たしていないことは承知しているが、何とか残す検討をしてもらえないか。

【回答】 本来ATMの存続を判断する生産性基準は、1日当たり60件ですが、46件に緩和し、さらにチラシやポスター等で利用を促進してまいりました。しかしながら、吉田事業所を含む8カ所のATMが廃止の対象となり、このような判断をさせていただきました。JAとしては苦渋の決断ですが、各種代替策を講じてまいります。

■ ATMについて、利用者が少なく採算が合わないから再編するとの事だが、再編対象の地域については、周辺に何もなく不便な地域である。農協は組合員の対応、地域の方々の利便性を考えれば、廃止すべきではないと思う。

【回答】 ATMについては、組合員や地域の利用者様の生活インフラの一部で

ある事、また、農協は地域の活性化や貢献という役割を担っている事については認識いたしております。しかし、5年後の収支見通しで説明しましたが、厳しい事業環境や金融情勢のなか、経営基盤確立における課題に対して対策を講じなければ、本年度以降、収支が悪化し赤字となる見通しです。ATM再編は持続可能な経営基盤の確立・強化のための対策の一つで取り組まなければならぬ事と考えております。地域の皆様方にはご不便をお掛けすることとは思いますが、ご理解承りますようお願いいたします。

■ ATMの手数料がかからないとの説明があつたが、その内容について確認したい。

【回答】 ローソンATMの中で南日本銀行が運用をしているものについては、手数料が発生いたします。ご利用の際はご注意ください。ゆうちよ銀行は入金、鹿児島銀行は出金については平日無料で実施しておりますので、今後利用促進に向けて周知を図ってまいります。なお、通帳記帳に際しては、移動金融車や店舗ATMでの対応をお願いいたします。

＜葬祭介護について＞

■ 家族葬(小規模葬)の取扱いについて教えてください。

【回答】 家族葬の取扱いについては、コロナ禍(令和2～4年度)は7割近くの取扱いでしたが、令和5年度から5割近くまで減少しております。当JAの斎場では、参列規模に応じたホールを準備させて頂いております。ご予算に応じて提案をさせて頂きますので、ご相談をお願いいたします。

■ 他の葬儀社では互助会制度による割引があるが、JA葬祭はどうなっているか。

【回答】 当JAでは、定期積金「百寿」をご契約頂くことで祭壇価格を10%、年金受取をご利用頂いている方は20万円以上の祭壇の場合10%、組合員の方については、一律3万円の値引きをさせて頂いております。葬祭利用の特典については、今後見直しを検討することとしております。

■ 通所介護事業を始めた目的と利用者の状況を教えてください。

【回答】 平成12年に合併前の東部農協時代に作られた事業です。地元組合員の要望もあり、当時の東部農協が必要と判断し、この事業を立ち上げて現在まで続けております。利用状況ですが、1日の利用者は平均で14～15名くらいです。毎日スタッフがご自宅まで送迎し、入浴や食事、レクリエーション等を行いながら楽しんでいただいております。

ます。ご希望の方には昼食に加え夕食も提供しております。介護度は要支援1～2が半数位で、残りは要介護1～3の方々です。

＜施設面について＞

■ 女性部の活動をしている南部経済センターが、建物老朽化により雨漏り等をしている。移転の予定もあるため致し方ない状況ではあるが、現在の状況を説明してもらいたい。また、西谷山は、女性部や助けあい組織かがやき等、活動が活発なので今後も活動が出来る場所(コミュニティセンター)を検討してもらいたい。

【回答】 女性部やかがやきの活動については大変感謝しております。引き続き活動をお願いいたします。現在の移転計画については、5月下旬に営業補償等の協議に入る予定で、理事会において、旧山田支店への移転で承認を頂いておりますが、現状、営業補償など資金計画の算定となるものが無いため、具体的な計画が立てられない状況です。今後具体的な協議が始まりますので、第3次中期3か年計画で協議を進め、進捗については今後の地区別説明会で説明してまいります。

■ 南部経済センターは、いつ旧山田支店に移転するのか。

【回答】 南部経済センターの移転時期

については、本年度、鹿児島市が予算を組まれた事は聞いておりますので、これから鹿児島市との協議が始まっていくと思います。まだ具体的な移転の時期についての情報はございません。今後、動きがありましたら地区別説明会等でご案内いたします。

■ 固定資産取得計画のなかで、桜島支店の建替えを1億3千5百万円計上しているが、具体的に決まっているのか。

【回答】 桜島支店においては、減損会計等による赤字店舗であり、人口減少により取扱量が見込めない状況にありますが、一方で建物の老朽化が進んでいる状況にあります。予算計上を行った上で、施設建設委員会などで検討を行うつもりです。また、建設地については、桜島フエリーターミナル近くにある選果場の敷地内を計画しております。

■ 田上支店の改修について、予算が4百万円組まれているが内容について教えてほしい。

【回答】 外壁等の改修工事として計画しておりますが、まずは安全性を確保する為に調査を行い、落下防止ネット等の養生費を含めて計上しております。

■ 旧下伊敷支店と駐車場の活用計画があるか。

【回答】 現在、具体的な計画はありませんが、第3次中期3か年計画において、全遊休資産の処理方針を検討し、今後の活用について組合員の皆様に説明できるようにいたします。

＜その他＞

■ 米が不足しているが、農協全体としての対応・方針について、国、政府への要求はしているのか、また、価格は下がっているか教えてほしい。

【回答】 JAでも安定した供給を要求していますが、製品を仕入れて販売しており、詳しい状況は把握出来ておりません。JAグループ、連合会へは伝えております。価格については下がることは断言できません。

■ 耕作放棄地について、JAに相談するとしたら窓口はどの部署になるのか。市内一円の農地の相談はJA鹿児島みらいが窓口を担うというような存在になってもいいし、農協らしい活動として地域活性化につなげてもらいたいと期待している。

【回答】 営農経済部で承ります。農地についての売却や賃借等に関しては、農業委員会に相談することになります。その橋渡し役をJAが担わないといけないという認識を持っております。

■ JADDOカードのポイントをAコープで利用しようとしたら出来ないと言われたがなぜか。

【回答】 JADDOカードはJAで商品券と交換するコースとポイントによりAコープで満点券が発行されるコースとあります。カードを作成された当時、JAで商品券と交換するコースになっていた可能性があります。なお、コースはいつでも変更することができません。

■ 広報誌が郵送されるようになったが、年間経費がどのくらいかかるのか。また、これまで渉外担当が持ってきてくれたが、郵送になると職員と組合員の接点がなくなってしまうのではないのか。

【回答】 広報誌については、配布時期が支店ごとにバラつきがあり、また配布方法も統一されていなかったことから、組合員へ情報提供をタイムリーに行う観点から、正組合員へ郵送することとしました。郵送費用については年間450万円程かかりますが、毎月10日前後に必ずお手元に届くようになりました。組合員との接点にかかる訪問活動については、全職員による訪問活動を進めることとしております。

■ 組合員数や農業生産高も減少してきているようだが、基本目標の「農業者

の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」について、具体的にどのような対応をしてきたのか。

【回答】 「農業者の所得増大」については、適正販売価格形成に向けて契約先である小売店やスーパー等のバイヤーと価格交渉に取り組んでおります。一つの例として軟弱野菜について、令和6年度は天候不順の影響もありましたが、目標販売単価を上回る実績となっております。「農業生産の拡大」については、新規取引先を見つけるとともに生産コスト抑制のため肥料・飼料の価格支援対策も行いました。「地域の活性化」については、地域の農業者を応援するため情報発信やイベントの開催を通じて「国産国産」の理解促進や地域農畜産物の消費拡大に取り組みしました。

※地区別説明会においても多くのご意見・ご要望をいただきました。全てを掲載出来ず申し訳ございません。

農産物直売所ごしよらん定期総会

5月21日、農産物直売所ごしよらん部会は吉野支店で第16回定期総会を開き、部員と関係者90人が参加しました。総会では、2025年度事業計画として年4

回のイベント開催や各種イベントへの出店、移動宣伝販売の出張ごしよらんの販売促進活動のほか、直売所モニター意見交換会などを実施しながら、地元の農産物を提供し、親しまれる店舗づくりを目指すことを決めました。

研修会では、2024年度のJAGグループ鹿児島の残留農薬事故や基準値超過・適用外事例紹介のほか、栽培履歴提出状況報告と安心・安全宣言、モニター意見交換会で出された商品・店舗運営に関する意見要望等を確認しました。



6月2日はローズの日

吉野支店管内には、向井利秋さん(47歳)が経営する向井バラ園があります。

向井さんの祖母が始め父へと受け継がれてきたバラ農家で、ハウス(3600㎡)にはロックワール栽培で淡い色のバラを中心に30種類以上のバラを作り、妻の美由紀さん(44歳)と従業員5人が選別作業などを担い、向井バラ園吉野店のほか直売所などで販売しています。

美由紀さんは「色々なイベント等でバラの魅力を消費者に伝えたい。母の日はカーネーション、父の日には黄色のバラを贈ってお花のある生活を楽しんでもらいたい」と笑顔で話していました。



平川びわ品評会開催

5月30日、平川果樹部会が平川町公民館でびわ品評会を開き、部会員や平川小学校の児童が丹精込めて作った平川びわ27点が出品されました。

会場には、初夏の果実として人気の高い長崎早生やなつたより、茂木びわの3品種のびわが並べられ、谷山支所農林課とJAの長元拓夢営農指導員らが、外観や着色、糖度、玉の大きさなどを審査し、金賞1点・銀賞2点・銅賞3点・特別賞1点の7点が選ばれ、塚原フサエさん(75歳)のびわが金賞に、平川小学校が特別賞に輝きました。



平川びわ祭・亡師・亡友の慰霊祭開催

6月1日、平川小学校で2025年度びわ祭りと亡師・亡友の慰霊祭が開かれ、児童や校区住民、鹿児島市、JA関係者ら60人が参加し、遺徳をしのぶとともにびわの豊作と校区の発展を祈りました。

平川びわは、1914年に赴任した第5代校長の国生若右衛門先生が平川の発展を願い、地域にある山びわに茂木びわを接木(3千本以上)して広めた国生先生の熱い想いを継承し地域で守り続け、現在では地域の特産品となっています。

慰霊碑前では神事が行われ、平川まちづくり協議会の鬼丸克彦会長や平川果樹部会の下園茂会長、国生先生の孫の国生徹郎さん(81歳)ほか関係者9人が玉串を奉納しました。

また、遺族代表として国生さんが「今年も美味しいびわが出来ましたね。親鸞聖人の言葉に、明日ありと思う心のあだ桜、夜半に風の吹かぬものはありますが、明日でいいと思わずに今日できることは今日するようにしてください」とあいさつしました。

最後に児童全員で、ふるさとの歌「枇杷の実が育つよ」に歌唱し、びわ祭りを終えました。



南国交通バスの後方に野菜のラッピング広告

5月23日、軟弱野菜生産部会（通称よしの優ラ良）のラッピング広告バスが完成し、運行を開始しました。

ラッピング広告は、後方に同部会の14品目の野菜がデザインされており、同部会が発信している野菜作りの魅力が詰まったインスタグラムの案内などもデザインされています。

同部会では、会員らが日々、安心・安全な野菜を作り消費者に届けていることを一人でも多くの人に知ってもらいたいと、2025年5月23日から2026年5月31日まで市内全域を走り、よしの優ラ良をPRします。

林大史部会長は「最高の仕上がりにテンションが上がりました。よしの優ラ良の野菜を多くの人に知ってもらい食べてもらいたい。背景の黄色に14品目の野菜が紹介されているのでラッピングバスを見た人に幸せを届けたいですね」と笑顔で話していました。



谷山地区放牧実証ほ場で3回目の放牧終える

5月23日、谷山地区放牧実証ほ場（32a）で鹿児島地域振興局や鹿児島市役所などで関係者5人が繁殖牛3頭の下牧を行いました。

同実証ほ場では、2024年から青年部畜産支部の千電裕樹支部長が地域資源フル活用飼料増産対策事業として、耕作放棄地を活用しコスト削減に向けた技術の習得や向上に取り組んでいます。

今回、4月中旬に3頭の繁殖牛を放牧。38日間で100cmほどに伸びていた草が採食され1週間ほど早い下牧となりました。放牧を終えた牛は関係者らが胸囲や腹囲、栄養度等を確認しました。

千電さんは「鉄分やミネラルが豊富な環境の中で日光を浴びることで毛の艶もよく繁殖性も改善されている。ノイバラの除草などを行いながら野草やバリアグラスの生育を確認し7月の放牧に向けて準備を進めていきます」と話していました。



鹿児島中央地区 春季畜産共進会

5月22日、2025年度鹿児島中央地区春季畜産共進会が鹿児島中央家畜市場で開かれ、第1部若雌・第2部若雌・第4部成雌牛に50頭が出品され、鹿児島市からは23頭が出場しました。

会場では、審査員らが月齢に応じた発育や体積、均称、資質など個体審査・比較・決定審査が行われました。

審査の結果、第4部成雌牛で（有）おおく畜産が出品した「あいふく（23号）」が優秀賞1席に選ばれました。

大久竜星さんは「秋に向けてまた頑張ります」と話していました。



吉野東中学校の生徒が 職場体験学習

5月20日から22日までの3日間、農産物直



売所ごしよらんで職場体験学習が行われ、吉野東中学校3年生の生徒3人が接客や店内清掃、レジの補助作業等を体験しました。

同中学校では、働くことの意義や職業観の意識向上とともに勤労を続けている保護者や地域の方々への感謝の機会になればと毎年実施しています。

生徒らは、野菜や商品陳列、掃除、レジのサポートや購入した商品の袋詰め作業などを行いました。

平川剣補さん(14歳)とは枝暖人さん(14歳)、池田蒼佑さん(14歳)は、「小売販売のジャンルを希望して3日間直売所で体験させてもらいました。職員の方やお客さんから声をかけてもらいながら色々な人と交流することができました。あつという間の3日間でした」と話していました。



鹿児島厚生連病院で 健康ふれあいまつり開催

5月18日、厚生連病院で第20

回健康ふれあいまつりが開かれ、市内外から800人が来場し賑わいました。



今回は、館内の1階と2階を開放し、無料で測定できる健康チェックや子供が楽しめる工コー操作体験、容器に軟膏をつめる作業や薬包紙を使った分包体験、錠剤の粉碎体験など薬剤師体験ブースも設けられ、貴重な体験に親子連れらが訪れていました。

JAGグループコーナーでは、お米や花、肉の販売、当JAのブースでは、葉物野菜やトマト、タマネギ、加工品販売のほか、野菜の損取状況がわかる「ベジメーター」も設置され、多くの来場者が測定し、日々の野菜損取状況を確認していました。

また、同JAのフレッシュミズのブースでは、米粉シフォンケーキやわらび餅、田の神の置物やブローチ、ピアスなど手作りの小物を販売し、多くの人が買い求めていました。



農業機械点検会を実施しました

5月12日から南部経済センターを皮切りに2025年度農業機械点検会が各経済センターで21日まで実施されました。



今回の点検会は、農繁期を迎える前に、これから頻繁に使用する農機具を点検して安全に農業をしてもらうことを目的に実施されました。



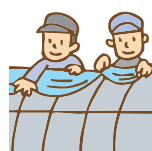
南部経済センターには、噴霧器が持ち込まれ

職員らが対応していました。
※農業機械等の故障など修理が必要な場合は各経済センターに農機担当が配置されていますのでお近くの経済センターにお尋ねください。



受託作業・援農支援アルバイトと合同作業

5月31日、桜島地区果樹農作業受託部会と援農支援アルバイトのメンバーが桜島小池町にある桜島小みかんの園地で会員と職員がビニールの被覆作業を合同で行いました。



2017年に設立した同部会も高齢化に伴い部会員の減少が課題となり、2025年度は桜島小みかんの収穫・運搬作業等(12月限定)を支援する援農支援アルバイトに参加しているJA職員が部会から作業依頼を受け、合同で支援作業を行いました。



伊敷支部設立

6月4日、旧小野支店において女性部伊敷支部の設立総会が開催され、部員や関係者28名が参加しました。伊敷支部は小野支部と下伊敷支部を統合し設立され、設立総会では令和7年度の活動計画や収支予算案、役員の選任など4つの議案が承認されました。

役員選任では小野支部の川田原光美支部長が伊敷支部の支部長に選任されました。

川田原支部長は、「今は亡き母にすめられ小野支部の支部長になり約8年が経過した。楽しいことも苦しいことも様々経験したが、伊敷支部でも部員の皆さんが楽しく活動できるように部員のみなさんとともに頑張りたい」と抱負を述べられました。



西谷山支部 校区グラウンドゴルフ楽しむ

6月1日、西谷山小学校で西谷山校区グラウンドゴルフ大会が開かれ、各町内会やJ Aを含む16チームが参加し、地域住民や子供たちとの交流を楽しみました。

同支部は、2022年から参加し2024年に

念願の優勝を果たし、今大会はあえて連覇は目指さずプレーを楽しもうと、参加した子供たちとの会話を楽しみながら試合を満喫しました。

川畑功美子支部長は「地域の方々と交流しながら楽しくプレーすることが出来た。前回優勝したので今回はひと休みです。来年はスペシャルチームを作って優勝目指して頑張ります」と話していました。



食農教育

秋の収穫に向けてサツマイモ苗定植

5月28日、伊敷支店管内にある鶴之村地区で、秋のサツマイモ収穫祭に向けて町内会の関係者7人がサツマイモの苗（紅はるか）200本を定植しました。

同町内会では、2020年からあいご会や長寿会が地域にある空き地を開拓して子供から高齢者が楽しめるサツマイモ畑を作り、みんなが楽しめる収穫祭をスタートしました。

23年には、町内会の末吉正隆さん（74歳）の自宅前にサツマイモ畑を移し、地域住民の恒例行事として定着しています。

畑には、事前にマルチが張られ関係者らは25cm間隔に穴をあけ、苗を定植し「愛情を込めて苗を植えました。子供たちの笑顔とサツマイモの収穫が楽しみです」と笑顔で話していました。



はららっぱ農園タマネギ収穫

5月18日、原良支店管内にある積水ハウス㈱の分譲住宅地コモンヒルズはららっぱの「はららっぱ農園」でタマネギの収穫体験があり、当J Aの関係者と収穫を心待ちにしていた地域住民ら60人が参加しました。

今回は、2024年11月に定植したタマネギ700本が収穫時期を迎え、松岡宮農指導員が生育状況と収穫方法について説明したあと、親子で畑に入り収穫を楽しみました。

原良支店の砂坂支店長は「笑顔あふれる収穫体験でした。今後も農業体験を通じて子供たちの笑顔と成長を見守っていきたい」と話していました。



ATM再編のお知らせ

昨年より地区別説明会等で説明し、検証をすすめてまいりましたATMの再編に関し、令和6年度の利用状況やJAバンクの定める生産性基準等を鑑み、右記のATMを令和7年7月末日をもって廃止とさせていただきます。永年に渡りご利用頂き有難うございました。今後は、最寄りのJA鹿児島みらい支店・ATMコーナー・移動金融店舗車または、お近くのコンビニエンスストア等の提携ATMをご利用いただくようお願い致します。

今後とも何卒変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用廃止日：令和7年7月31日(木)

廃止とするATM

旧小野支店ATM

旧下田支店ATM

旧広木事業所ATM

皆与志事業所ATM

旧下伊敷支店ATM

吉田事業所ATM

犬迫事業所ATM

桜島フェリーターミナルATM



JA鹿児島みらい発行のキャッシュカードは
多くのATMで手数料無料でご利用いただけます。



提携ATM	取引	時間	手数料
JAバンクATM	入出金	ATM営業時間	無料
ゆうちょ銀行ATM	入出金	平日 8:45～18:00	無料
		平日の時間外及び土曜・日曜・祝日	110円
セブンイレブンATM (セブン銀行)	入出金	平日 8:45～18:00	無料
		土曜日 9:00～14:00	
		平日・土曜の時間外及び日曜・祝日	110円
ローソンATM ※1 (ローソン銀行)	入出金	平日 8:45～18:00	無料
		土曜日 9:00～14:00	
		平日・土曜の時間外及び日曜・祝日	110円
ファミリーマートATM ※2 (ファミリーマート設置の鹿児島銀行ATM)	出金	平日 8:45～18:00	無料
		平日の時間外及び土曜・日曜・祝日	110円
鹿児島銀行ATM ※2	出金	平日 8:45～18:00	無料
		平日の時間外及び土曜・日曜・祝日	110円

※1 ローソンに設置されているローソン銀行以外のATMはサービス内容が異なる場合があります。詳しくはご利用ATMの掲示等でご確認ください。

※2 鹿児島銀行ATMでの無料サービスは、鹿児島県以外のJAバンクが発行するキャッシュカードは対象となりません。



移動金融店舗「みらい号」のルート変更についてお知らせ

皆与志事業所と旧下田支店を追加運行

令和7年7月末日のATM再編に伴い、郊外地域におきましては、令和7年8月1日(金)より下記運行表に基づき運行致しますので、ご利用をお願い致します。

運行ルート 令和7年8月1日(金)より			
	午前		午後
火曜日	9:15～10:15 吉田事業所	11:05～12:05 犬迫事業所	13:30～14:30 旧小野支店
水曜日	9:15～10:15 皆与志事業所	11:30～12:30 旧平川出張所	13:30～14:30 旧福平支店
木曜日	9:15～10:15 吉田事業所	11:05～12:05 犬迫事業所	13:30～14:30 旧花野支店
金曜日	10:30～12:00 旧東桜島支店		14:00～15:00 旧下田支店

ご利用可能な取引内容

- ① 貯金入金(現金預入)
- ② 貯金出金(現金払出)
- ③ 通帳記帳
- ④ 通帳繰越
- ⑤ 各種相談業務

※当窓口における1日の現金払戻限度額は、50万円となります。

※天候不順・交通事情などにより、運休する場合がございます。

※年末年始・運行日が祝日の場合は、休業日とさせていただきます。

※移動金融店舗車は、大規模災害発生時の車両派遣支援を兼ねております。事情により、運休する場合がございます。

※移動金融店舗車は、地域の組合員や利用者様の生活支援を行う目的で運行しております。法人等の利用をお断りする場合がございます。

みなさまのお越しをお待ちしております。

地域農家・生産者大応援!!!

青年部 マルシェ

in かんまちあ 2025. 8/9 土 10:00 ~ 15:00

入場 無料

キッチンカーもやってくる! / クイズラリーも開催!

大特価! 鹿児島市内産の農畜産物大販売会!

会場だけの特別価格で大放売!! 鹿児島市産のおいしい食材をおトクにゲットしよう!

当日限り大特価!

青年部が育てた! A5ランク 鹿児島黒牛の販売

読者からの

おたより

★5月27日の小松菜の日に小松菜を食べました。3月の水菜の日、そして小松菜の日、7月27日は？と調べたら、まさかのスイカの日。今年はすでにスイカを食べましたよ
(あぶがん)

★小松菜の日は知りませんでした。栄養豊富な野菜です。これからもスモージー、ナムルにして食べたいと思います
(トコちゃん)

★毎月楽しみに読んでいます。各地域の活動にはいろいろなイベントや講習会があるですね。子供たちの学校での農作業の体験、今では中々できないですね。もうすぐ田植えも始まりますが子供たちにもお米の大切さを分かってほしいですね。昔はお茶も畑から摘んで大きな釜で煎り、手間をかけたのを思い出します
(のんのばあば)

★今お米が高くて弁当や子供たちの食べ盛りに大変ですが野菜が少々安くなり野菜たっぷりの料理を作っています。庭でニ

ワトリとアヒルを飼っていますが畑や田んぼで楽しく遊びまわっています
(あひるママ)

★ごしよらんの春まつり賑わいましたね。中でも、みいちゃん農園の野菜講習会は大変参考になりました。定期的に実施してもらえたら助かります(吉野のキヨトン)

★広報誌5月号で玉江・鶴丸小学校の生徒が伝統野菜の種を販売している記事がありました。若し人達が農業関係に興味をもつてたくさんの方が農業をやってもらいたいものです
(山田のかかし)

★ゴールデンウィークは夫婦で釣り三昧でした。たくさんのアジが釣れたので「かまぼこ」を作りました。家庭菜園で野菜を育てたり海に出かけ魚を捕ったり、健康づくりのために、いい汗かいています(釣り吉)

★無駄だろう、意味ないだろう、馬鹿だろう、今さらだろう……でもやるんだよ！

新聞の記事欄にみつめました。年をとってくると何かをする事に上記のような考えになります。でも何でも挑戦することだと思えます
(つばねく)

理事会だより

第3回(5月21日)

- ① 基本給のベースアップ及び職員給与規程の一部変更について
- ② 業務報告書の決定について
- ③ JA畜産経営継承支援事業申請取下げおよび今後の債権回収方策について
- ④ JA畜産経営継承支援事業に伴う事業継承について
- ⑤ 参事の解任ならびに選任について

JA鹿児島みらいの概況 (2025年5月末)

正組合員数	5,178人
准組合員数	36,281人
総組合員数	41,459人
貯金残高	2,533億円
貸付金残高	1,008億5千5百万円
長期共済保有高	5,265億2千1百万円

単位：頭・円（税抜価格）

6月子牛セリ市成績表(売却のみ)

	みらい計	畜連計
総頭数	116	400
総平均	585,629	582,403
めす	頭数	51
	最高	810,000
	最低	400,000
	平均	529,784
去勢	頭数	65
	最高	806,000
	最低	436,000
	平均	629,446

地域コミュニティ誌「nagomi」vol.14 発行のお知らせ

2025年度のnagomiは「農業女子」第二弾として、園芸と畜産それぞれの分野で元気に明るく日々頑張っている女性にスポットを当てて作業の様子などを紹介します。

6月中旬に4戸の生産農家に協力をいただき取材を行いました。

「nagomi vol.14 農業女子第二弾」は7月中旬に各支店・各経済センター、JAの直売所等に設置しますので是非、ご愛読いただければと思います。

7月中旬に
nagomi発行します





正解者の中から抽選で10名の方に
農協共通商品券をお送りいたします。

応募方法

左下のハガキを切り取り、必要事項をご記入の上、

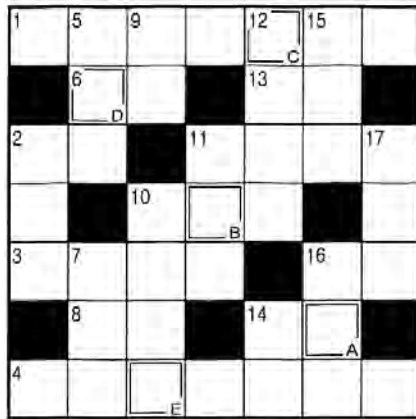
- ①支店窓口にお持ちいただくか、
- ②85円切手を貼ってポストに投函してください。

[締切] 2025年8月8日(金) 必着

クイズの答えにおたよりを添えて、どしどしご応募ください。身近な地域の話題・イラスト・絵手紙・写真などの作品もお待ちしております。

[おたより]クイズの答えにまつわるエピソードのほか、JAに対するご意見・ご感想、良かった記事など教えてください。

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？



A B C D E

⇒ヨコのカギ

- 1 夏休みの朝に通ってスタンプをもらいます
- 2 早起きは三文の——
- 3 サーファーが乗ろうとするもの
- 4 アルコール分が含まれていない飲み物
- 6 疑問文では上げることが多い
- 8 葛まんじゅうの中に包み込まれているもの
- 10 デジタル時代になり——の文字を見る機会が減りました
- 11 騎手が乗っていません
- 13 観光、スクール、二階建てといえ
- 14 鳥の体に生えるもの
- 16 うな重と一緒に——吸いを注文した

5月号お楽しみクイズ 当選者発表(敬称略)

- ※まさじあちゃん(平川町)
- ※あひるママ(山田町)
- ※はとぼつ(光山)
- ※イズミソウコ(小松原)
- ※さくまのぎく(西谷山)
- ※マロ(明和)
- ※スーちゃん(吉野町)
- ※一寸法師(伊敷)
- ※8人の孫のバアバ(牟礼町)
- ※うばざくら(武岡)



5月号の答え

- 17 阿寒湖で育つものが有名な藻類
- 16 依万智の第一歌集「サラダ——」
- 15 糸を通して布を縫います
- 14 メロンの生産量が日本一である県
- 12 左右反対に映ります
- 11 ショッピングモールには多くの——が入っている
- 9 浴衣を着て——を締めた
- 10 ハワイ州の州都、ホノルルがある島
- 7 閻魔大王がいるところ
- 5 3人組のこと
- 2 早稲

↓タテのカギ

キリトリ線

▼本誌へのご意見、身近な地域の話題、イラスト、絵手紙、写真など
お書きください。

5月27日の小松菜の日 ラジオPR

軟弱野菜生産部会(通称よしの優良)の濱田
紘彰さん(28歳)が、エフ
エム鹿児島の「somethingμ」に出演し、5月27日
の小松菜の日に合わせて
消費者へのPRを行いました。



スタジオでは、部会名である優良の意味や小松菜が滋
陰類(じいんるい)という身体を潤す働きのある食材である
ことなどを伝えました。

また、簡単で美味しいおすすめ料理やインスタグラムの
紹介、県内で初めてとなるラッピング広告バスの運行が開
始したことをリスナーに伝えました。

濱田さんは「美味しい小松菜をたくさん食べてもらいた
い」と話していました。

ペンネーム

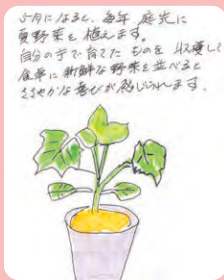
素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。ご了承ください。



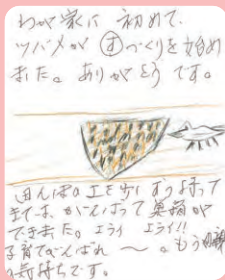
あおちゃん



くつきい♡



さくまのざく



すずばあちゃん



つるひめ



ひまわり



よしちゃん



ヒーちゃん



一寸法師



8人の孫のバアバ



うば桜



ひまわり



こいのぼり



ペコリ



ゆうまとさくらのばあば



キタさん



まりちゃん



道男君

お茶生産量日本一! かごしま茶



鹿児島
ふるさと便

2025 夏ギフトカタログ
大切な方へ、鹿児島からの贈りもの。

●お申し込み・お問い合わせは
最寄りのJAにておたずねください。

ご注文受付日より約10日程度
かかる場合がございます。

- 商品の発送は6月中旬からの発送となります。
- お中元のしでお届け日指定がない場合、7月上旬からの発送となります。
(お届け開始予定時期のある商品は除きます。)
- ※青果物の商品は旬の時期にお届け(カタログに発送時期を記載)するためお届けの時期が遅れる場合がございますので、予めご了承ください。
また、配達日のご指定、一部離島にはお届けできませんのでご了承ください。
※メーカーより産直でお届けするため、異なる商品を2点以上お申し込みの際に、お届け日が異なる場合がございます。

2.お申し込み
受付期間

2025年 8月5日(木)まで

3.送料について

本カタログ掲載価格が商品代金(消費税込)の金額で
別途送料が必要となります。
送料・同梱包発送についての詳細は本カタログ31ページをご覧ください。

4.お申し込み方法

専用申込書に必要事項をご記入の上、

最寄りのJAにてお申し込みください。

郵便はがき

切手を
貼って下さい。
又はJA窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿児島市小川町27番17号

JA鹿児島みらい本部

広報誌7月号

「お楽しみクイズ」係

7月号 クイズの答え			
お名前		年齢	
住所	〒 —		
電話番号			

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、抽選、商品発送以外の目的で
使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。